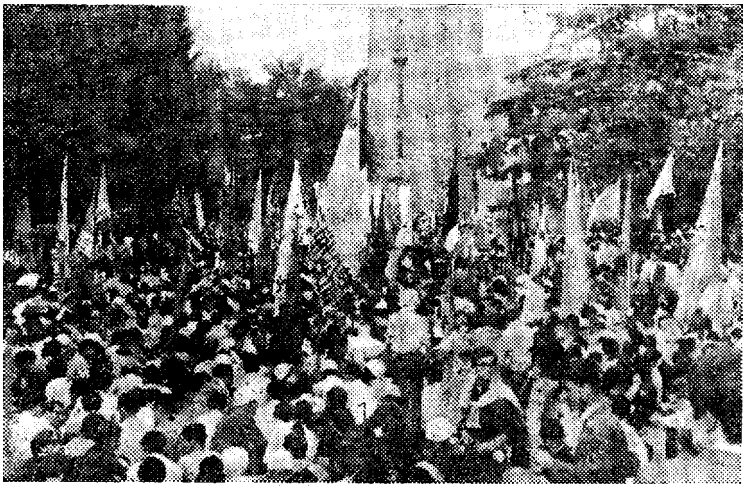
1969.7.17明治大学新聞

約五〇〇〇人が参加

10日 全都全共闘集会



十日午後一時三十分記念館に結集した本学全共闘約二〇〇人は東京医科歯科大生と合流後、地下鉄で全都全共闘総決起集会の会場である早大に向かった。三時二十分に早大に到着した一行はすでに集まっていた早大など他大学の全共闘派学生からさかんな拍手で迎えられた。構内をデモったあとそのまま集会に臨んだ。

藤本政夫社学同委員長、金山克己中核派委員長などの挨拶があった後、各大学の全共闘から闘争報告がなされた。二番目に本学全共闘を代表して福田眞人君が「われわれは明大闘争勝利の日まで闘い抜く」と早稲田の杜を埋め尽した約七〇〇〇人の学生に宣誓した。

午後七時前に集会を終えてこの日の参加者約五〇〇〇人は早大部隊を先頭に国会周辺までの約一〇㌔の延々たるデモを行なった。早大を出たあたりから交通警官の規制が始まった。ジグザグデモをするとすぐに左の歩道側に押し返す。警官と学生のトラブルがあちこちで起こる。学生が警官に向かって「あなたは大学立法がどんなものなのか知っていますか」と浴びせるように問うと、「うるさい。そんな事に応えている時ではない」と怒号が返ってくる。

警察側は主要交差点や官庁街を除いては機動隊を配置しなかった。しかも、圧倒的多数を誇るデモ隊に対して警備陣もいつものような過激な行動には出られなかったようである。

九時十五分頃に日比谷公園に到着したデモ隊は十時までには各派とも解散した。なお、この日のデモで五人が都公安条例違反で逮捕された。

（カットは早大前での集会）